

昭和東南海地震70年 シンポジウム

～過去の震災から学び、未来に活かす～

入場無料 | 要事前申込 | 手話通訳・要約筆記あり

三重県・三重大学 みえ防災・減災センターでは、昭和東南海地震の発生から70年の節目の年であることから、「過去の震災から学び、未来に活かす」ことをテーマに、昭和東南海地震70年シンポジウムを開催します。

日時

平成26年 12月6日(土)

13:00～16:00 (開場 12:00)

場所

津リージョンプラザ お城ホール

津市西丸之内23-1 (津市役所となり・市立図書館上階)

※津市に「大雨」「洪水」または「暴風」警報が発表されている場合や、県内に震度5弱以上の地震が観測され、災害対策本部を設置している場合など、やむを得ずシンポジウムを中止する場合があります。ご了承ください。



1 開会挨拶

三重県知事 鈴木 英敬
三重大学学長 内田 淳正
津市長 前葉 泰幸

2 みえの防災大賞表彰式

3 基調講演

「大規模地震・津波災害に備えて
～東南海地震から南海トラフ地震へ～」

講師：古村 孝志 さん

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター教授
東京大学地震研究所 巨大地震津波災害予測研究センター教授



古村 孝志 (ふるむら たかし) 教授

専門は、地震の揺れの可視化とシミュレーション。
地震波が複雑な地下を伝わり、地表に強い揺れとなって到達して被害が起きる原因を、地震計のデータ解析とスーパーコンピューターを用いて評価するなど、災害軽減に向けた研究に取り組まれています。

4 みえ防災・減災アーカイブの紹介

川口 淳 みえ防災・減災センター情報収集・啓発分野長
三重大学大学院工学研究科准教授

5 パネルディスカッション

「過去の震災から学び、未来に活かす」

コメンテーター 古村 孝志 さん (前掲)
パネリスト 喜多 健 さん (みえ熊野学会運営委員)
布谷 知夫 さん (三重県立総合博物館館長)
吉村 利男 さん (三重大学附属図書館
研究開発室 客員教授)

コーディネーター 川口 淳 (前掲)

6 閉会挨拶

吉岡 基 みえ防災・減災センター センター長
三重大学理事 (研究・情報担当)・副学長

ブース出展：県、三重大学、市町、企業等の防災・減災に関する
取り組みを紹介！ (11:00～17:00)

防災啓発車で地震体験もできます！

お申し込みについて、詳しくは裏面をご覧ください。

主催 | みえ防災・減災センター、三重県、三重大学

共催 | 津市、東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議 (愛知県・岐阜県・静岡県・名古屋市・静岡市・浜松市)

お問い合わせ
お申し込み先

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター 津市栗真町屋町1577 三重大学社会連携研究センター3階
☎ : 059-231-5694 FAX : 059-231-9954 E-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp



昭和東南海地震70年シンポジウム 参加申込書

●氏名	ふりがな ()	ほか参加人数 名 ご同行者のいる場合に ご記入ください。
●電話番号		
●メール		
送り先		Midimic <small>mie disaster mitigation center</small>
FAX : 059 - 231 - 9954		E-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp
〒514-8507 津市栗真町屋町1577 三重大学社会連携研究センター3階 みえ防災・減災センター		

※ご記入いただいた個人情報につきましては、当シンポジウムでのみ使用し、その他の目的で利用することはありません。

お申し込み方法

●郵送・E-mail

「昭和東南海地震70年シンポジウム参加申込」と記載のうえ、①氏名（ふりがな）、②連絡先（電話番号・メールアドレスなど）を明記し、上記住所またはE-mailアドレスまでお送りください。

●FAX

「参加申込書」に必要事項を記入し、上記FAX番号までお送りください。

※お申し込み受理の連絡等はいりません。当日会場へお越しください。

▼右上：津市の状況



▲ほか：尾鷲市の状況

写真提供：太田 金典 氏